



ネットヨタ三重&つうぴー編集室 presents

部活応援隊が行く!!

久居農林高等学校
ボクシング部
編

3年連続インターハイ出場!

久居農林高等学校

ボクシング部

今年3年連続となるインターハイ出場を決めた久居農林高校ボクシング部。3年前から顧問に就任し、ボクシング競技経験者の山本拳先生の指導のもと、男女18人が練習に汗を流します。

Q1 競技の魅力は?

A1 (山辺さん) 小学校、中学校と野球をしていましたが、久居農林高校ボクシング部のOBで現在プロボクサーの兄に憧れて入部しました。練習は大変ですが、ボクシングが好き。ただの殴り合いに

見えがちですが相手との駆け引きがあるのが魅力で、ひたすら練習して自分の持ち味であるパンチ力を生かしています。

(3年生) 山辺 大地さん
(やまべ だいち)



Q3 チームの課題は?

A3 (山辺さん) 厳しい練習で疲れてくると気が抜けてしまいメリハリがなくなってしまうところですね。だらけてしまっているときは気を引き締めるよう自分から声をかけています。

(山本先生 インターハイでは、幼少期から競技をしているような強豪がたくさんが集まります。部員たちはいい試合をするのですが、結果に結びつかない。経験値のある選手に対して勝つことは簡単ではありませんが、県外遠征などを通じて技術の高い選手と戦う機会を設けています。

二次元コードを読み取るとボクシング部のコメントが見られます。



A2 Q2 どんなチームですか?

(山辺さん) 先輩後輩の壁がなく、オフの日も遊びに出かけるくらい仲が良いです。(山本先生) ボクシングを好きなメンバーがそろっており、特に3年生は自主性をもつて練習に励んでいます。



A4 Q4 現在の目標は?

(山辺さん) 兄の成し遂げた全国3位を超えることです。高校卒業後はプロの道に進みたいです。(山本先生) 今年は男子2人、女子1人がインターハイに出場します。ひとつでも多く勝ち進んでいくことが目標です。



A5 Q5 指導する上で心がけていることは?

(山本先生) 練習はとても厳しく精神面でつらいときもありますが、サポートするよう努めています。全員が未経験からのスタート。技術的な指導はもちろんですが、ボクシングの楽しさを伝えたい。部でボクシングを経験した生徒が将来、「子どもにもボクシングをさせたい」と思ってもらえると指導者冥利に尽きますね。



ネットヨタ三重はスポーツ・文化活動で頑張る団体さんの広報活動を応援します!